

文法の特訓 動詞編 下

・小学高学年以上向き・

もくじ

「文法の特訓 動詞編」について 2
 このテキストのつかい方 3

ことばの種類	4	動詞	6
五十音表	7	力行変格活用動詞	8
サ行変格活用動詞	9	自動詞と他動詞	10
問題一	10	テスト一	14
補助動詞	16	テスト二	18
問題二	16	動詞の名詞化	22
音便	20	総合テスト一	26
総合問題一	23	総合テスト二	31
総合問題二	27	総合テスト三	39
動詞の抜き出し	33		
総合問題三	36		
解答	40		

難易度	易	1	2	3	4	5	受験	難
						←→		

■ 自動詞と他動詞

動詞には、「・を」という対象の言葉（目的語）を必要とする動詞と、必要としない動詞があります。「・を」（目的語）を必要としない動詞を「自動詞」、「・を」（目的語）を必要とする動詞を「他動詞」といいます。

例えば、「集まる」という動詞の場合、「・を集まる」とは言いません。しかし「集める」という動詞の場合、「・を」を入れないと意味が通じません。（「きのうぼくは集めたよ」と言われると「何を？」と聞きかえしたくなりますよ）

人が**集まる** 「・を」（目的語）を必要としない⇨自動詞
 人を**集める** 「・を」（目的語）を必要とする⇨他動詞

問題一、次の太字の部分の動詞が自動詞ならば□に「自」と書き（ ）にその対応する他動詞を書きなさい。また太字の部分の動詞が他動詞ならば□に「他」と書き（ ）にその対応する自動詞を書きなさい。

例、人々が町に**集まる**

自 □ ↓ （ 集める ）

生徒を教室に**集める**

他 □ ↓ （ 集まる ）

1、事件が**起こる**

□ ↓ （ ）

2、えんぴつが**折れる**

□ ↓ （ ）

■補助動詞

ア、私は、桜を**みた**。

イ、私は、走って**みた**。

アの「みた」は「目で見る」という本来の「見る」という意味ですが、イの「みた」は「目で見る」という意味は失われて、「試しに・する」という意味になります。

このように、動詞が本来の意味を失って、述語について補助的な意味を表すようになったものを「補助動詞」といいます。

「補助動詞」には、次のようなものがあります。

みる みせる いる くる ある しまう おく いく やる
もらう くれる ・なや

一般に、補助動詞は、ひらがなで書き表します。

問題二、次のアイの組みの太字の部分で、補助動詞である方に○を付けなさい。

例、ア、私は、桜を**みる**。 ()

イ、私は、走って**みる**。 (○)

1、ア、ぼくは、北海道に**いる**。 ()

イ、ぼくは、スキーをして**いる**。 ()

2、ア、ポチがやってくる。 ()

イ、ポチがこちらへくる。 ()

総合問題一、次のそれぞれの文に合うように、□にひらがなを書き入れなさい。ただし□は動詞あるいは動詞が変成してできた語の一部分です。

1、朝起

□ て学校に行

□

したくをしていると、宿題をし

ていないことに気がつ

□

た。

2、勉強

□ ないで食

□

てばかりいると、覚

□

たことが

頭から消

□

てゆくよ。

3、歌

□ て、飲

□

で、話

□

て、ああ楽しい一日だっ

た。

4、戦

□ ために出か

□

□

ば、生

□

て帰

□

□

保

証はない。

5、おい、ちよつとこっちへ来

□。

6、本を読

□

で、いろいろなことを学

□

だ。

7、走

□ て家まで帰

□

て来

□

ば、みんなやこかに行

□

ていて留守だった。

総合問題二、□の横に書かれた動詞を文に合うように活用させ
あるいは名詞に変えて、□に書き入れなさい。

例、さっさと

かたづけ
かたづける

なさい。

これを

買う
買う

人はいますか。

1、いっしよに

登校する

よう。

2、これを

見る

てもらえますか。

3、フラスコを

用いる

て実験しましょう。

4、それを

取る

て下さい。

5、お正月だから、着物を

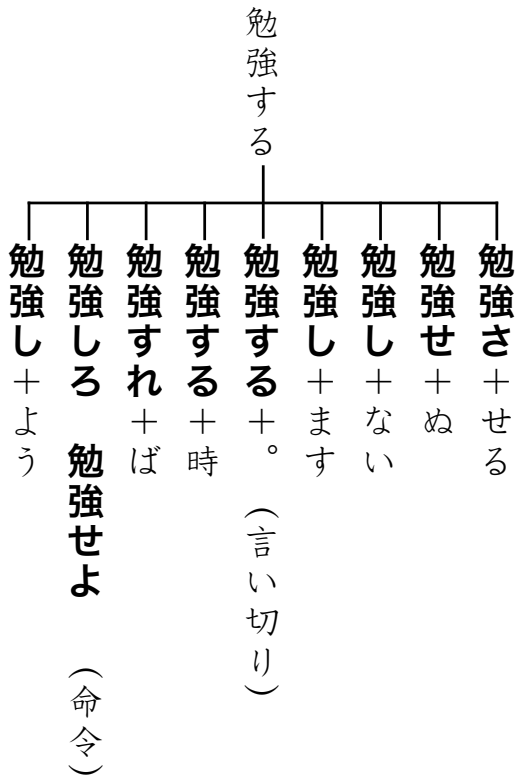
着る

たら。

6、一所懸命

働く

のは良いことです。



総合問題三、次の□の中の文章の中から動詞を探し、動詞の部分だけを書き抜きなさい。また、その動詞が何活用か答えなさい。

1、明日、朝起きたら、すぐに公園へでかけて、そこでラジオ体操をする予定だ。

- | | | | |
|----|-----------|--------------|----|
| 例、 | 動詞 (起き) | 活用形 (上 一段) | 活用 |
| | 動詞 () | 活用形 () | 活用 |
| | 動詞 () | 活用形 () | 活用 |

2、お母さんの作るお弁当はとてもおいしいので、毎日でも食べたいと思っている。

- | | | |
|--------|---------|----|
| 動詞 () | 活用形 () | 活用 |
| 動詞 () | 活用形 () | 活用 |
| 動詞 () | 活用形 () | 活用 |
| 動詞 () | 活用形 () | 活用 |